



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/>

例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30~13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



2019-20年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
Decatur RC(アラバマ州)

会長 増田 繁 ・ 会長エレクト 木村 利晴 ・ 副会長 笹川 英一 ・ 幹事 笹川 英一

第54巻 第20号 通巻 第2581号 2020.3.4発行

第2580回 2020年2月26日例会報告

【出席報告】 SAA 伊藤 武雄

例会	出席計算会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正出席率%
2/26	29	22	7	75.86		
2/9	27	9	18	33.33	5	51.85
会員総数 30名						
(名誉会員 3名 ・ 出席免除会員 5名)						
通算出席率 86.76%						
2月9日メイクアップ5名・笹川幹事、山本会員 荒木会員、林会員、泉水会員(理事会)						



点 鐘 会長 増田 繁

ソング 我等の生業

【会長挨拶】 会長 増田 繁

皆さんこんにちは。新型コロナウイルスの感染拡大が広がる中、政府内閣官房は昨日25日にイベント等の開催について感染拡大防止の

観点から、開催の必要性を検討して欲しいと発表しました。感染拡大のピークをずらすことで、医療体制を充実させ終息させようと計画しております。このまま拡大が続くことで、終息時期が遅れますと、オリンピック、パラリンピックの開催が危ぶまれてしまいます。

今私たちが出来ることは感染防止につながる行動・・・人ごみの多い所はできるだけ避け、手洗いの励行、アルコール消毒薬の設置、マスクの着用等ひとり一人の実施が必要ではないでしょうか。

【幹事報告】

幹事 笹川 英一



◎次期規程審議会代表議員の決定について
規程審議会

代表議員 得居仁氏 (松戸東RC)
パストガバナー

補欠議員 関口徳雄氏 (浦安RC)
パストガバナー

◎訃報

2005-06年度RI第2790地区ガバナー
山中義忠 様 (船橋南RC)
令和2年2月22日 (享年84歳) にて
逝去いたしました。

ここに哀悼の意を表し慎んでお知らせ
致します。

◎2021-22年度

ロータリー青少年交換派遣生 について

- ・黎明高校1年生、女子
- ・次回の理事会で検討する

八街RC 3月 例会スケジュール	
3月 4日(水)	理事会・通常例会
3月11日(水)	休 会
3月18日(水)	通常例会
3月25日(水)	夜間例会(やまもと)18時点鐘

【委員会報告】

社会奉仕委員会

委員長 竹村 信彦

3月8日(日)に予定していましたドローン教育講習会は延期となりました。また決まり次第ご報告させていただきますのでよろしくお願いいたします。

【誕生月卓話】

竹村 信彦会員



弊社は電力送電線の工事・保守を行っています。今回は昨年の台風・豪雨災害に関してお話しさせていただきます。

君津で鉄塔2基の倒壊があり、県内で大規模停電がありました。台風15号により9月9日未明に鉄塔が倒壊し、ここに架かる木内線、内房線、糸魚川線の各2回線、全6回線の送電線が送電不能となり、県南数カ所の変電所への送電が途絶えました。翌晩の復旧作業で弊社を含む3社が、仮送電ルートへの切り替え工事をおこない、10日朝には全ての変電所へ送電いたしました。その後も長期に亘り停電が続き、テレビニュースなどでは倒れた鉄塔が長期停電の原因のような報道がなされていましたが、送電線設備による停電は翌日には解消されていたことを付け加えさせていただきます。停電が長期化したのは、電柱で送る配電線が倒木や電柱の倒壊による被害が甚大で、配電線がいたる所で寸断されてしまったことと、その現場にいたる道路も倒木や

飛来物で通行できなかつたことが主な原因でした。これについては東電の配電部門ならびに協力会社が故障箇所ごとに周辺への影響も含め、安全確認をしながら復旧を進めていました。君津の倒壊鉄塔2基の復旧工事は弊社の仕事ではありませんでしたが、先ず鉄塔周辺の伐採作業、電線の撤去作業から倒壊鉄塔の撤去作業、その後基礎補強工事、鉄塔を組み上げ電線を張り、突貫工事で今年の1月に建て替えを終えました。仮の応急ルートから通常送電ルートに戻す作業は弊社で行いました。1月24日から順次各回線が送電され2月1日に完全復旧しました。昨秋からの設備点検により台風の強風や豪雨により県内の送電設備に多くの被害が出ていることが判明し、なかには土砂崩壊により早急に鉄塔の建て替えを進めなければならない箇所もあります。今後はそういった問題箇所の復旧工事や設備の増強工事に協力していきます。先ずは安全最優先で進めてまいりたいと思います。

【誕生月卓話】

大畑 喜信会員



“中小企業は要らない？集約され、自然淘汰・半減してもいい” 雑誌の記事に啞然としました。

失われた20年、いや30年デフレ脱却もままならず、日本経済の低成長は（1）人口の急激な

減少（2）生産性（就業者1人当たりのGDP）の低迷にある。日本経済の再浮揚には、国が賃金UPを主導してGDPの半分を占める個人消費を引き上げること。この浮揚策を実現するのに壁となるのが中小企業であり、非効率な企業の退出を促し、集約して初めて国の生産性が高まるとしたのが、経済アナリストのデイビット・アトキンソン氏、国宝や古美術の保存修復を手掛ける京都の小西美術工芸社社長でもある。GDP世界3位の日本が、生産性において、先進7か国で万年最下位であり、日本のGDPの1/2～1/3であるイタリアやスペインとほぼ同じことは、小規模事業所で働く人が多いことと言える。一般的に中小企業は大企業に比べて賃金は低い。女性活躍、有給休暇取得率等の働き方改革、少子化、年金不足、AI、最先端技術取得の低下、社員教育等企業規模が小さいことが引き起こしている。

今、日本の中小企業は事業所数357.8万社／35.9万社（99.7%）従業員数3220万人／4670万人（68.8%）GDP130兆円（25%）であり、全国140万の調査先から、経営状況・後継者や取引関係の状況から事業承継の条件に整っているかに照らして、危機に瀕している中小企業が全国31万社にのぼる。休廃業・解散する事業所数は、この10年間、毎年23,000～27,000件で推移している（帝国データバンク）。経産省も25年には70歳を超える経営者が全体の60%245万人となり、127万人が後継者未定と言う中で、中小企業の1/3が廃業予備軍となると予想しています。千葉県でも、2019年、後継者未定が5475件、休廃業が826件で、神奈川県と

共に後継者の4人に1人が70歳を超えるのが現状です。

何故、小さな事業所が増えたのか？それは、OECD加入（1964年）→資本自由化→外貨の脅威→護送船団方式（小さな企業を護もるためのシステム）。これを法律面で支えたのが、中小企業基本法（1963年制定）であるとし、株の持ち合い（買収防止策）→内向き経営→改革の遅れ→国の借金・1200兆円の流れとなっていると指摘しています。

人口減少（労働年齢人口の減少）→消費減少→高齢者の増加→デフレ志向→社会福祉費用の増加→賃金UP→個人消費の増大→国の生産性向上。国の安定・発展の為に会社の利益が国益に対するものであってはならない。内部留保は7年連続最高の463兆円（2018年）企業が手元に残す現金・預金は約223兆円となったという。会社・株主だけのものなのか？昭和の時代から続く9・6・4問題（所得捕捉の不平等）。

東京オリンピックの開催（1964年）、東海道新幹線の開業・大阪万国博への輝かしい高度成長も人口増加によるものであったこと。中小企業神話の影が薄くなり、中小企業優遇策を改めてクローズアップさせます。世の中の厳しい視線が増えてくると思います。

新型コロナウイルスについて

一般市民の方々へ

—共有してほしい情報と行動—

1. 感染症の臨床的特徴が明らかになってきました。本ウイルスに感染を受けた人の多くは無症状のまま経過するものと思われます。感染を受けた人の中で潜伏期間(1~12.5日)ののうち一定の割合で発熱・呼吸器

疾患、咽頭痛、咳などの感染症状が認められるようになります。発熱や呼吸器症状が1週間前後持続することが多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える人が多いことが特徴とされています。いわゆる風邪、あるいはインフルエンザであれば、通常は3~4日までの症状のピークで、その後改善傾向がみられますが、新型コロナウイルス感染症では症状が長引くことが特徴です。4日を過ぎても発熱が続く、特に1週間目においても発熱が続く場合、息が苦しい、呼吸器症状が悪化する、などを認めた場合には肺炎の合併が疑われます。直に帰国者・接触者相談センターにご相談下さい。

2. 1週間以内に症状が軽快しそうであれば、自宅での安静で様子を見ます。新しく出現した感染症の場合には、しばしば重症例だけが取り出されて解析されることとなります。しかし実際には、感染をうけても無症状~軽症の人が何倍も多く存在すると考えられています。新型コロナウイルス感染症においても同様のことが考えられます。おそらく風邪様症状から軽い上気道炎ぐらいの軽症例が多数存在するものと思われます。このような症例は1週間で症状が軽快します。特に治療の必要はなく、自宅で安静にしておくことで十分です。ただし、家族など身近の方への感染に気を付け、家族と接するときのマスク着用と、こまめな手洗いや手指消毒を心がけましょう。

3. 1週間以上熱が続く、呼吸苦・呼吸器症状の悪化がみられる場合には医療機関へ一方で、4日~1週間ほど経過しても熱が続いている、呼吸が苦しくなってきた、咳・咽頭痛が悪化している、などが見られた場合には帰国者・接触者相談センターに相談する必要があるとあります。1週間未満であっても高熱がみられるようになった、呼吸困難がみられるといった場合には肺炎の合併を疑います。速やかに帰国者・接触者相談センターに相談して帰国者接触者外来のある医療機関を受診してください。

4. 高齢者・基礎疾患を有する人は外出を控える、人込みの中に入らない。新型コロナウイルス感染症は高齢者や基礎疾患がある人で重症化しやすいことが明らかとなっています。幸いにも、小児においては重症例が少ないことが報告されています。重症化につながる基礎疾患としては糖尿病、心不全、腎障害・透析患者や、生物学的製剤、抗がん剤、免疫抑制剤投与患者などがあります。今回問題となったクルーズ船や老人介護施設・病院などは高齢者や免疫不全患者が多数集まる場所です。5. 現在、実施されているウイルス検出のための検査(PCR法)には限界があります。新型コロナウイルスは、主に咽頭や肺で増殖しますが、インフルエンザに比べてウイルス量は少ないと考えられています。PCR法という核酸検査で増幅してウイルスを検出する方法が診断に応用されています。最初の検査で陰性で、2回目の検査で陽性となった症例も報じられました。インフルエンザに比べて1/100~1/1,000といわれるウイルスの少なさは、検査結果の判定を難しくしています。とくに早い段階でのPCR検査は「決して万能ではない」ことをご理解ください。